

統計グラフ全国コンクールで 総務庁長官特別賞受賞

—平成7年度 茨城県及び全国統計グラフコンクール—

第46回茨城県統計グラフコンクールは、応募作品10,604点、応募者23,969人という多くの方々の参加を頂きました。

作品の傾向としては、本県は従来から紺系統の寒色を基調にした作品が多かったのですが、本年度の作品を見ると色々な手法を駆使し、全体のイメージが明るいものが多く見られました。

また、テーマの選択についても、小学校低学年は遊びのこと、友達のこと、リサイクルなど身近な素材を選んだもの

が多く、高学年は環境問題や平和意識など、中学生は多発する拳銃犯罪や高齢化社会、悩みの問題などマスコミからの情報等を活用して社会の事象を適切にとらえてまとめています。

審査は、県内5地区において地区審査員により地区別審査がまず行われ、作品582点が選ばれました。これらの作品について最終審査は、9月20・21日の両日、大洗町「オーシャンビュー大洗」において県審査員10名により厳正に行われ、知事賞5点、県議会議長賞5点等入選作品84点が最終的に選ばれ、このうち特に優秀な作品22点については、全国コンクールに出品しました。

これらの入選者については、来年2月7日(木)県民文化センターにおいて開催される第37回茨城県統計大会の席上で表彰が行われ、賞状と副賞品が贈られます。

なお、これら入選作品については、統計大会会場において展示し、一般の皆様方にご覧頂きます。その後、各小・中学校を巡回展示する予定になっています。



県審査会

次に、第43回統計グラフ全国コンクールについて述べますと、全国で57,526点の応募作品があり、このうち各県から中央審査に出品された784点について、10月12日(木)に審査会が行われました。

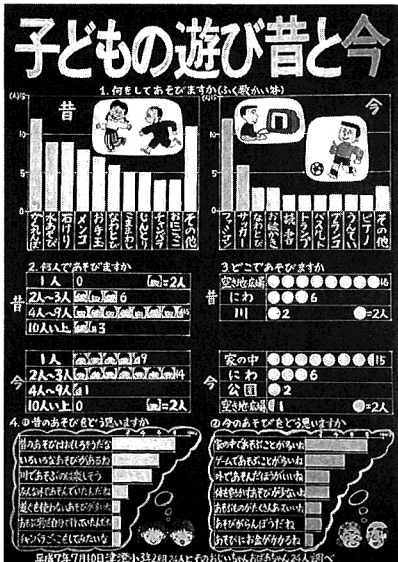
この結果、本県出品作品から10点が入賞し、うち中学生(第3部)の作品が全国特選(各都府県で1点)に輝き、さらに総務庁長官特別賞(全国で1点)も合わせて受賞しました。

本県の統計グラフの作成活動はここ数年間、質・量とも全国のトップレベルを維持し「統計茨城」の名にふさわしい結果であるといえます。

特選の表彰については、来年1月18日(木)に静岡県浜松市のアクティシティ浜松において開催される第46回全国統計大会の席上、石下町立石下中学校1年・門井秀憲さん・中川路夫さん・中島悟さんが第3部(中学生)の全国代表として受賞いたします。

なお、県知事賞受賞作品及び本県の全国コンクール特選受賞作品は次頁のとおりです。

(統計課・普及指導グループ)



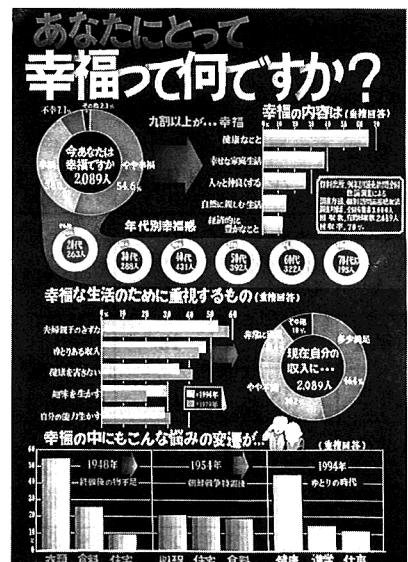
〈第1部〉 県知事賞
北浦村立津澄小学校 3年
方波見律子・土子志穂里



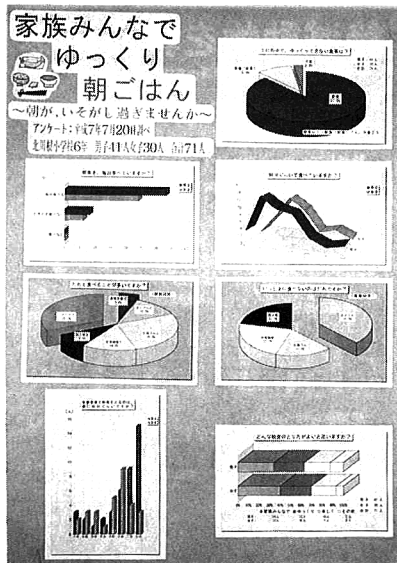
〈第2部〉 県知事賞
旭村立旭南小学校 6年
渡邊千尋・石崎亜弥・青山里絵・柴田紀子



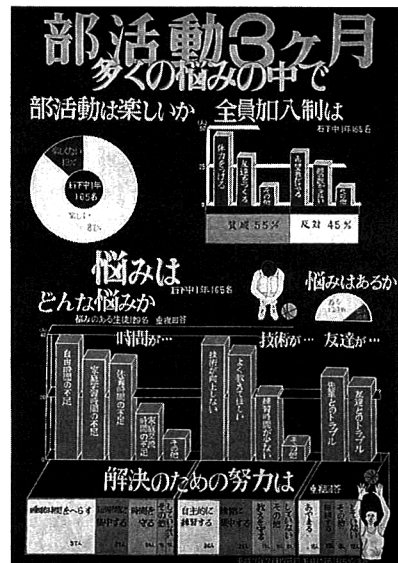
〈第3部〉 県知事賞
高萩市立松岡中学校 2年
福谷絵美・鈴木理恵



〈第5部〉 県知事賞 (全国コンクール入選)
西茨城郡友部町
青木勇一



〈パソコン統計グラフの部〉 県知事賞 (全国コンクール入選)
友部町立北川根小学校 6年
竹内千紗



〈第3部〉 教育長賞 (全国コンクール特選・総務庁長官特別賞)
石下町立石下中学校 1年
門井秀憲・中川路夫・中島 悟

〔全国コンクールへの出品点数及び入賞状況〕

年度	区分	出品点数	計	1部	2部	3部	4部	5部	パソコンの部	特選
平成元年度		20	12	3	2	3	—	4	—	—
平成2年度		18	14	3	4	4	—	2	1	—
平成3年度		18	12	4	2	4	—	1	1	1
平成4年度		23	15	5	3	2	—	1	4	1
平成5年度		22	14	3	4	3	—	1	3	2
平成6年度		22	11	2	5	—	—	2	2	2
平成7年度		22	10	1	1	2	—	2	4	1